



7/30 埼玉県と埼玉県生協連の第1回定期協議 埼玉県への要望を提出しました



はじめに、消費生活課課長関口修宏さんよりごあいさついただき、埼玉県からの報告として2019年度生協指導検査実施状況について、訪問販売業者への行政処分についてなど、報告いただきました。生協連からは、「新型コロナウイルス対策および2021年度における埼玉県予算編成ならびに行政執行に関する要望」について、医療生協さいたまや大学生協の厳しい現状に触れながら報告し、その後質疑応答含め懇談を行いました。



9/2 埼玉県内生協監事研修・交流会 監事監査の基本と監査ポイント を学び、交流しました



6生協19人の監事および監事スタッフの参加で、市民会館うらわにて開催しました。日本生協連法務部の土屋良一さんを講師に、監事の基本職務と責務、法的な責任について、さらに実際に監査を行う上で必要な点についてお話いただきました。研修後、グループ交流をおこないました。



9/7 埼玉省委託事業 県内消費者団体全体研修会 「女性と相続 ～何でも夫名義？ つれあいの権利って～」を テーマに学習しました



さいたま共済会館にて、消費者団体など45人が参加、弁護士の豎十萌子さんによる講演を行いました。私たちが、日頃何気なく受け入れている男女差別や偏見、慣習などについて、具体的な例を出しながら、その歴史的背景にも触れながら話をされました。参加者からは「自分らしく生きる力をつけていきたい」などの声がありました。



講師の豎 十萌子さん



写真ニュース

県内生協の活動を写真で伝える情報誌

2020
秋号
No.75

(2020年10月発行)

Top News 8/27

医療生協さいたまへの応援メッセージ・医療物資贈呈式 新型コロナウイルス感染症拡大の危険の中、 奮闘されている医療生協さいたまの皆さんへ 感謝を伝えました



会員生協からの応援メッセージも贈呈しました

医療生協さいたま雪田慎二理事長(左)と
埼玉県生協連吉川尚彦会長理事

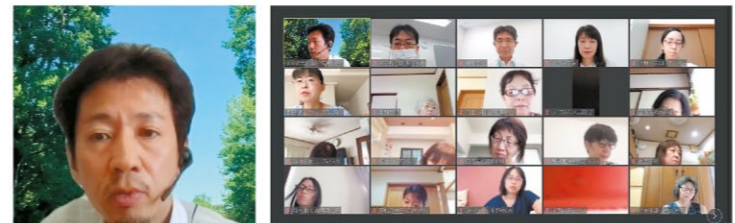
医療生協さいたまふれあい会館にて、医療生協さいたまへの応援メッセージと物資支援の贈呈式を行いました。贈呈式では、医療生協さいたま雪田理事長に、医療物資サージカルグローブ11万7,000枚(約40万円相当)の目録および会員生協からの応援メッセージを贈呈しました。

8/28 第1回組合員学習会

初めての完全オンライン学習会を開催、 プラスチック問題について 学習しました



Zoomによるオンライン開催で、「SDGsの国内展開とプラスチック問題」をテーマに、国立環境研究所 田崎智宏さんに講演いただきました。4生協130人が参加、プラスチック問題の解きほぐし方について深く学びました。



講師の田崎智宏さん

参加者からは質問も多く出され、講師から丁寧に説明いただきました

7/26 第35回 埼玉県原爆死没者慰霊式



7月26日(日)、新型コロナウイルス感染防止を最優先に、被爆者やご遺族、来賓、実行委員会団体代表者など56人の参加で開催、式典では、埼玉県内の原爆死没者名簿の奉納、しらせ会田中照巳会長による慰霊のこたば、来賓のあいさつ、広島市長・長崎市長のメッセージ紹介、献花・折り鶴奉納と進み、最後に「原爆許すまじ」を会場に流しました。初めてYouTubeライブ配信しました。



しらせ会の田中照巳会長によるあいさつ

埼玉会館小ホールにて開催しました



新型コロナウイルス感染拡大に 対応した取り組みなど



生活協同組合コープみらい

『新型コロナウイルス感染症に負けない！ 緊急応援募金』を贈呈しました

組合員みなさんから寄せいただいた緊急応援募金を、「赤い羽根 子どもと家族の緊急支援全国キャンペーン」として埼玉県共同募金会に500万円を、「新型コロナウイルス感染症対策推進基金」として埼玉県に1,000万円を贈呈しました。

コープみらいは、最前線で活動する医療現場、生活課題が長期化・深刻化する子どもやその家族の支援、途上国の子どものための支援のために活用する緊急応援募金を組合員に呼びかけ、5,194万4,577円の募金が寄せられ、千葉県・埼玉県・東京都の医療現場の支援のための寄附金やそれぞれの共同募金会、日本ユニセフ協会に贈呈しました。

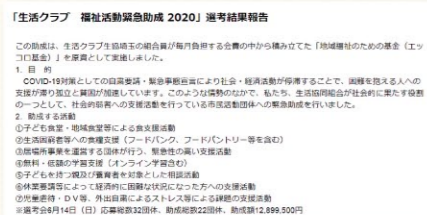


「困っている方への橋渡しとして、責任を持ってお届けします」との言葉をいただきました



「組合員の思いの詰まった募金を有効にお使いいただけたら嬉しいです」と大野知事に目録をお渡ししました

生活クラブ生活協同組合 「生活クラブ 福祉活動緊急助成2020」



新型コロナウイルス感染予防対策は社会的弱者を支える市民活動団体の運営を困難にしました。生活に困難を抱える人を心配する組合員の気持ちは高まり、支援団体を至急応援することを目的に、6月に助成先を募集し、月末には県内16市町村の22団体へ総額12,899,500円の助成を行うことができました。

この助成は、生活クラブ埼玉のたすけあいの仕組み（エコロ制度）の会費の一部を積み立てた「地域福祉のための基金」を原資にしています。

生活協同組合パルシステム埼玉

オンライン企画「おうちで うどんをつくっちゃおう!」を開催



7月7日(火)、食育サポーターを講師に、「おうちでうどんをつくっちゃおう!」を行いました。

新たな組合員活動の開催方法を模索するため、オンライン配信形式でのテスト開催となりました。参加者には視聴するアプリを導入、必要な材料の準備をお願いしました。講師が説明しつつ実演し、参加者はそれを画面で見ながら調理しました。課題等を整理しながら、今後の活動に生かしていきます。

医療生協さいたま生活協同組合

お米1合持ち寄り運動 励ましと応援に応え、医療従事者も フードドライブに参加しました



支援物資として提供いただいたガウン

職員は、新型コロナウイルス感染症への対応に使命感を持ちつつも、自らが感染するリスクを抱え、緊張感を持ち続けながら生活しています。そのような中、組合員や220を超える団体・個人からマスクやガウンなどの支援物資の提供に励まされ、支えられてきました。

埼玉協同病院の職員も「地域の一員としてできることに取り組んでいきたい」との思いから「お米1合持ち寄り運動」を行い、31部門から475合が集まりました。

フードドライブやフードパントリーへの 支援が広がっています



生活クラブ生活協同組合

「生活困窮者への米の緊急支援」



埼玉ではフードバンク埼玉を通じて支援 (特非)でとてが行うフードパントリーへお届け

生活クラブはこれまで各地域で、子ども食堂や生活困窮者支援などの活動を支援してきました。この間の事態を受け、連携する福祉団体との情報交換をもとに、生活に困窮する方々に主食の米を少しでも早く届けることが一番の支援になると判断しました。

長年食の共同購入事業で提携関係にある生産者の協賛を受けることで、独自の物流システムを使い、6~7月にかけて約31トンのお米を全国の生活クラブを通じ、地域のフードバンクや子ども食堂等の生活困窮者支援団体78団体に届けることができました。

生活協同組合コープみらい

県内13カ所でフードドライブを 実施しています



フードドライブ食品寄贈BOX

家庭で保管されたままの食品を寄贈していただく「フードドライブ」の取り組みを4月から新たに3店舗（コープ春日部店、コープ熊谷店、コープ深谷店）で開始、埼玉県内の実施施設は13カ所（組合員施設8カ所、店舗5カ所）となります。

2016年から2020年8月までに4.1トンの食品を提供いただき、お預かりした食品は、「NPO法人フードバンク埼玉」を通じて埼玉県内の福祉施設・団体や生活困窮者へ提供されています。

医療生協さいたま生活協同組合

健康格差をなくそう!フードパントリー開催



健康相談、血圧測定も同時開催

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、子ども(多世代)食堂が開催できない状況が続いています。それに代わり、食料品をお渡しするフードパントリーを9カ所で開催、健康相談も行ってきました。

食料は埼玉県子ども食堂ネットワークをはじめ、企業・団体・組合員の方々からの寄付やボランティア協力を頂き、いのちを支えるネットワークづくりをすすめています。今後も開催していく予定です。

生活協同組合パルシステム埼玉

「ホームステイ応援プチパントリー」に協力



5月29日(金)、埼玉県子ども食堂ネットワークが中心となり、子どものいる家庭に無料で食材を配る「ホームステイ応援プチパントリー」が行われました。学校の休業により活用できなかった食材など24トンを県内85カ所ある支援団体を通じて必要とする家庭へ提供しました。

パルシステムはキャベツや玉ねぎなどの青果を提供したほか、職員が物資の仕分け作業などに協力しました。

埼玉県労働者共済生活協同組合(こくみん共済 coop<全労済>)

交通遺児等への寄附および横断旗の寄贈

埼玉県交通安全対策協議会の「交通遺児援護基金」に13万9400円を寄附しました。この寄附の取り組みは2016年からスタートし今年で6回目。マイカー共済の新規加入件数に応じて寄附を実施しており、寄附総額は73万6300円となっています。

また、マイカー共済の積り積り希望者数に応じて横断旗4,864本を全国私立保育園協会と児童健全育成推進財団へ寄附しました。



埼玉推進本部金井本部長が感謝状を受け取りました